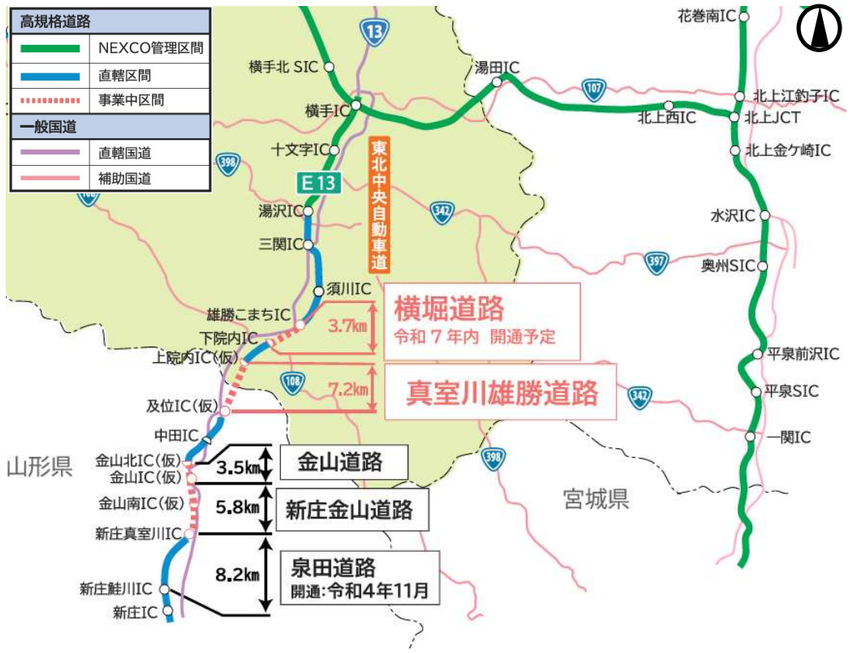
# ま むろ がわ お がち 真室川雄勝道路

## 位置図




## 事業の目的

真室川雄勝道路は、東北中央自動車道の一部を構成し、秋田・山形の県境部の冬期交通機能を確保します。また。高速ネットワークが形成され、速達性や定時性が確保されることで、地域連携の強化により、冬期周遊観光の支援などを目的としています。

## 事業概要

起終点：山形県最上郡真室川町大字及位～
秋田県湯沢市上院内

車線数：2車線

設計速度：80km/h

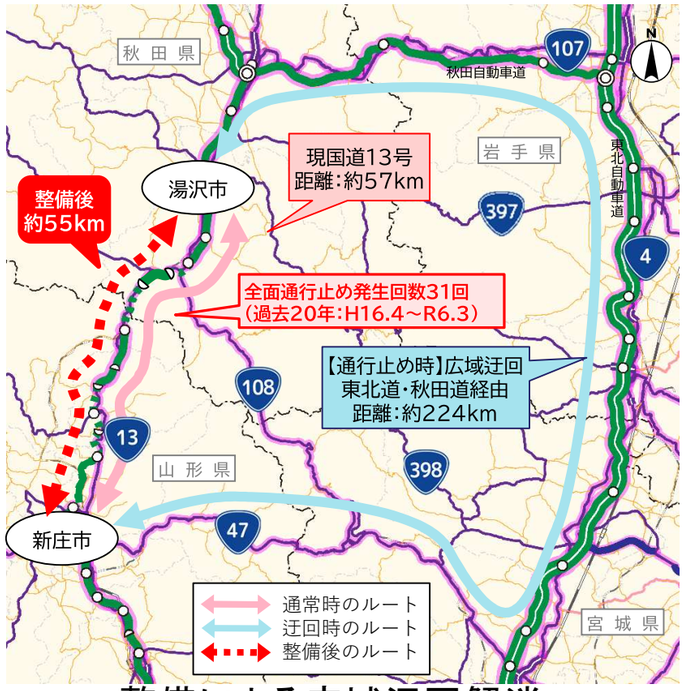
道路延長：7.2km

## ●冬期降雪の影響を回避する交通機能が向上

●当地域は東北有数の豪雪地帯であり、東北管内では月山に次ぎ、雪崩・落雪予防作業の交通規制等を実施しており、移動時間の遅れやバラツキが発生しています。

●真室川雄勝道路の開通することにより、冬期の走行環境が改善や災害時の広域迂回、秋田県間の生活・産業に寄与することがの解消され、山形県期待されます。

【国道13号災害時の広域迂回解消】
・現状（新庄市～湯沢市）：224km
→ 整備後：55km（約8割減少）

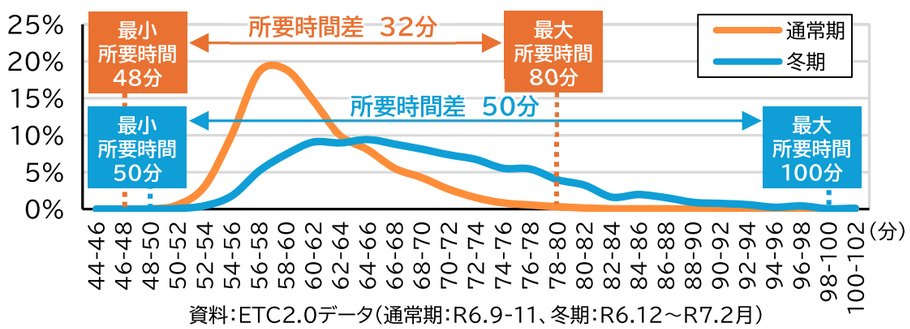



整備による広域迂回解消

## ●冬期の周遊観光に不可欠な高速道路ネットワークを構築

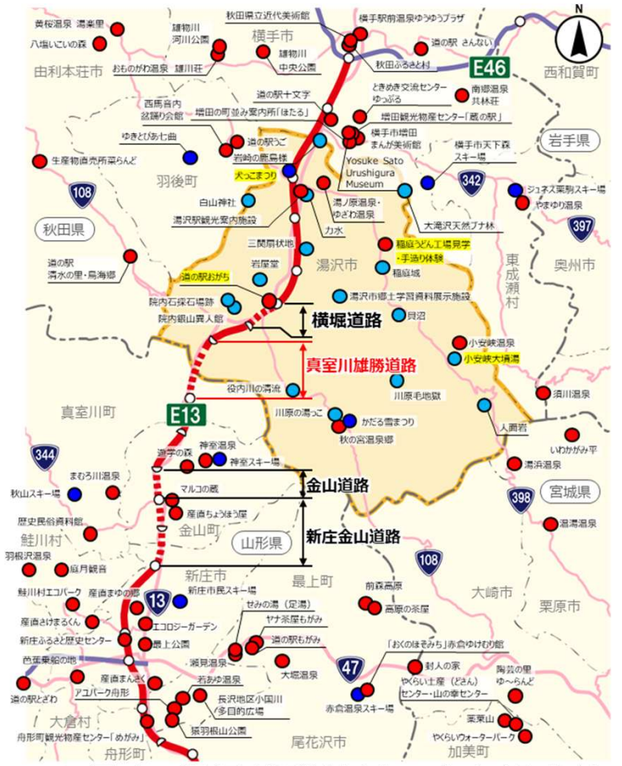
●秋田・山形両県が連携し、冬の魅力をテーマとした観光誘客に取り組んでいますが、冬期間は国道13号の定時性が確保できず、移動時間のばらつきが懸念されています。

▼平均所要時間とばらつき（湯沢市～新庄市）




資料：ETC2.0データ（通常期：R6.9-11、冬期：R6.12～R7.2月）

●真室川雄勝道路の開通することにより、秋田・山形両県のアクセス性が向上し、地域間の観光連携の促進に寄与することが期待されています。




▲最上・湯沢雄勝地域の主な観光地